
平成28年3月期 決算補足説明資料

国際石油開発帝石株式会社

2016年(平成28年)5月12日

注意事項

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

2016年3月期 決算ハイライト

	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	11,712	10,095	△1,616	△13.8%
原油売上高	7,304	6,792	△511	△7.0%
天然ガス売上高(LPG含む)	4,218	3,167	△1,050	△24.9%
その他	189	135	△53	△28.4%
営業利益 (億円)	5,348	3,901	△1,447	△27.1%
経常利益 (億円)	5,751	3,747	△2,003	△34.8%
親会社株主に帰属する 純利益 (億円)	778	167	△610	△78.4%
1株当たり純利益 (円)	53.29	11.49	△41.8	△78.4%

期中平均株式数(連結)2016年3月期 1,460,357,200株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	86.57	48.73	△37.84	△43.7%
期中平均為替 (¥/\$)	109.77	120.15	10円38銭円安	9.5%円安

2

原油売上高

	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
売上高(億円)	7,304	6,792	△511	△7.0%

販売量(千bbl)	80,558	117,227	36,669	45.5%
海外平均単価(\$/bbl)	84.00	47.95	△36.05	△42.9%
国内平均単価(¥/kl)	61,080	38,259	△22,821	△37.4%
平均為替(¥/\$)	107.79	120.74	12円95銭円安	12.0%円安

地域別販売量(千bbl)	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
日本	791 (125.8千kl)	741 (117.8千kl)	△50 (△8.0千kl)	△6.4%
アジア・オセアニア	11,015	13,505	2,489	22.6%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	9,946	11,666	1,721	17.3%
中東・アフリカ	58,773	89,486	30,714	52.3%
米州	33	1,829	1,796	-
合計	80,558	117,227	36,669	45.5%

3

天然ガス売上高(LPG除く)

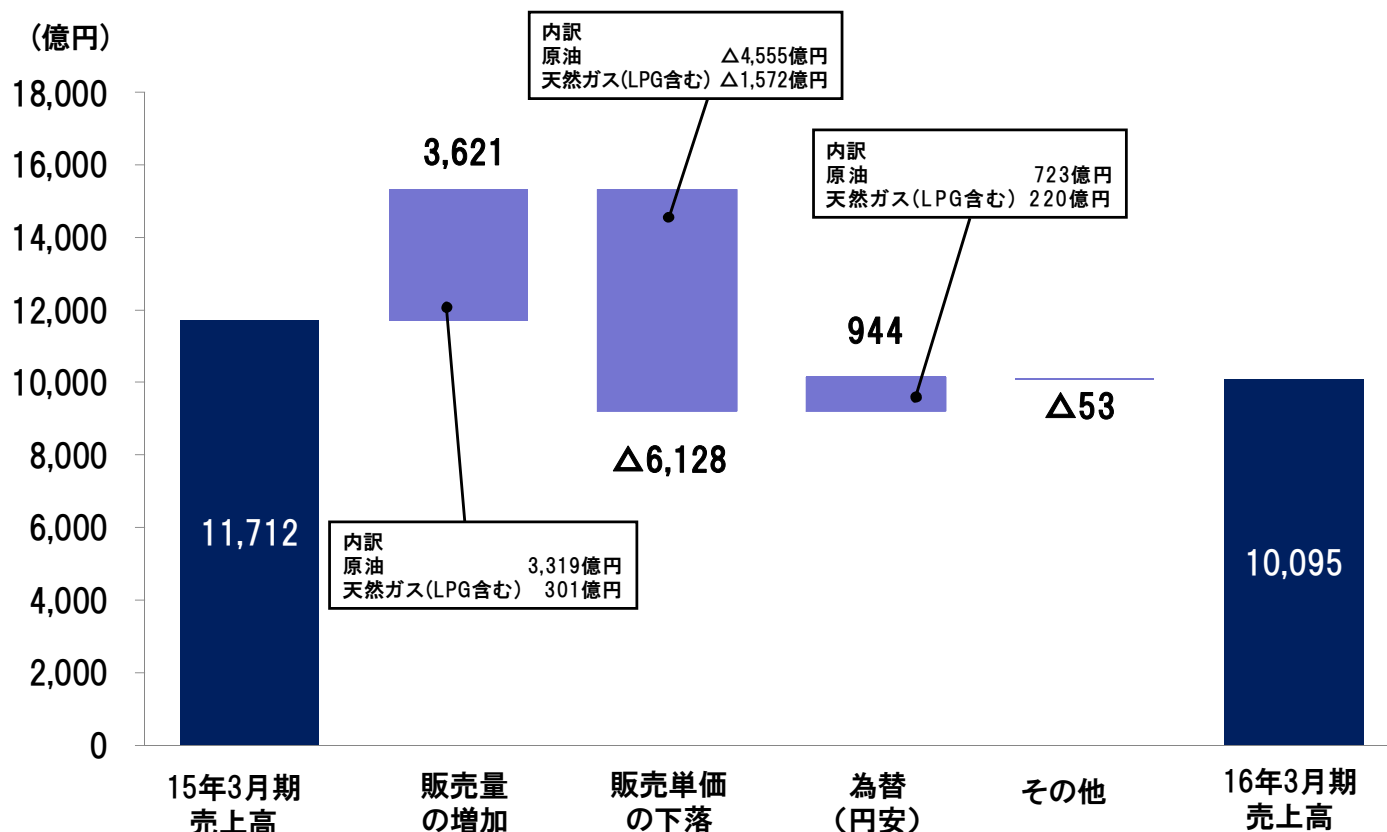
	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	4,013	3,062	△951	△23.7%
販売量 (百万cf)	309,485	337,216	27,731	9.0%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	11.36	6.58	△4.78	△42.1%
国内分平均単価 (¥/m ³)	57.56	52.29	△5.27	△9.2%
平均為替 (¥/\$)	108.26	119.95	11円69銭円安	10.8%円安
地域別販売量 (百万cf)	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
日本	66,679 (1,787百万m ³ *)	65,304 (1,750百万m ³ *)	△1,374 (△37百万m ³ *)	△2.1%
アジア・オセアニア	204,231	238,759	34,528	16.9%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	38,575	33,153	△5,423	△14.1%
合計	309,485	337,216	27,731	9.0%

※ LPGの売上高は以下の通り。

*1m³当たり41.8605MJ

	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	205	105	△99	△48.6%

2016年3月期 売上高 増減要因分析



損益計算書

INPEX

(億円)	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
売上高	11,712	10,095	△1,616	△13.8%
売上原価	5,254	5,267	13	0.3%
売上総利益	6,457	4,828	△1,629	△25.2%
探鉱費	232	61	△170	△73.5%
販売費及び一般管理費	876	865	△11	△1.3%
営業利益	5,348	3,901	△1,447	△27.1%
営業外収益	1,017	699	△318	△31.3%
営業外費用	614	853	238	38.7%
経常利益	5,751	3,747	△2,003	△34.8%
特別損失(減損損失)	351	458	107	30.6%
法人税等合計	4,644	3,543	△1,100	△23.7%
非支配株主に帰属する純損益	△22	△422	△400	-
親会社株主に帰属する純利益	778	167	△610	△78.4%

販売量の増加	+3,621
販売単価の下落	△6,128
為替(円安)	+944
その他	△53

原油売上原価:	3,441
(増減)	+356
天然ガス売上原価(注):	1,707
(増減)	△313
(注) LPGを含む。	

主な要因	
権益譲渡益等の減少(増減△267)	
為替差益 (増減 △165)	
有価証券売却益 (増減 +78)	

主な要因	
生産物回収勘定引当金繰入額 (増減 +55)	
持分法による投資損失(増減 +72)	
固定資産除却損 (増減 +70)	

当期減損損失の主な内訳:	
ルシウス油田:	264
チモール海共同石油開発地域	
JPDA06-105鉱区:	74

6

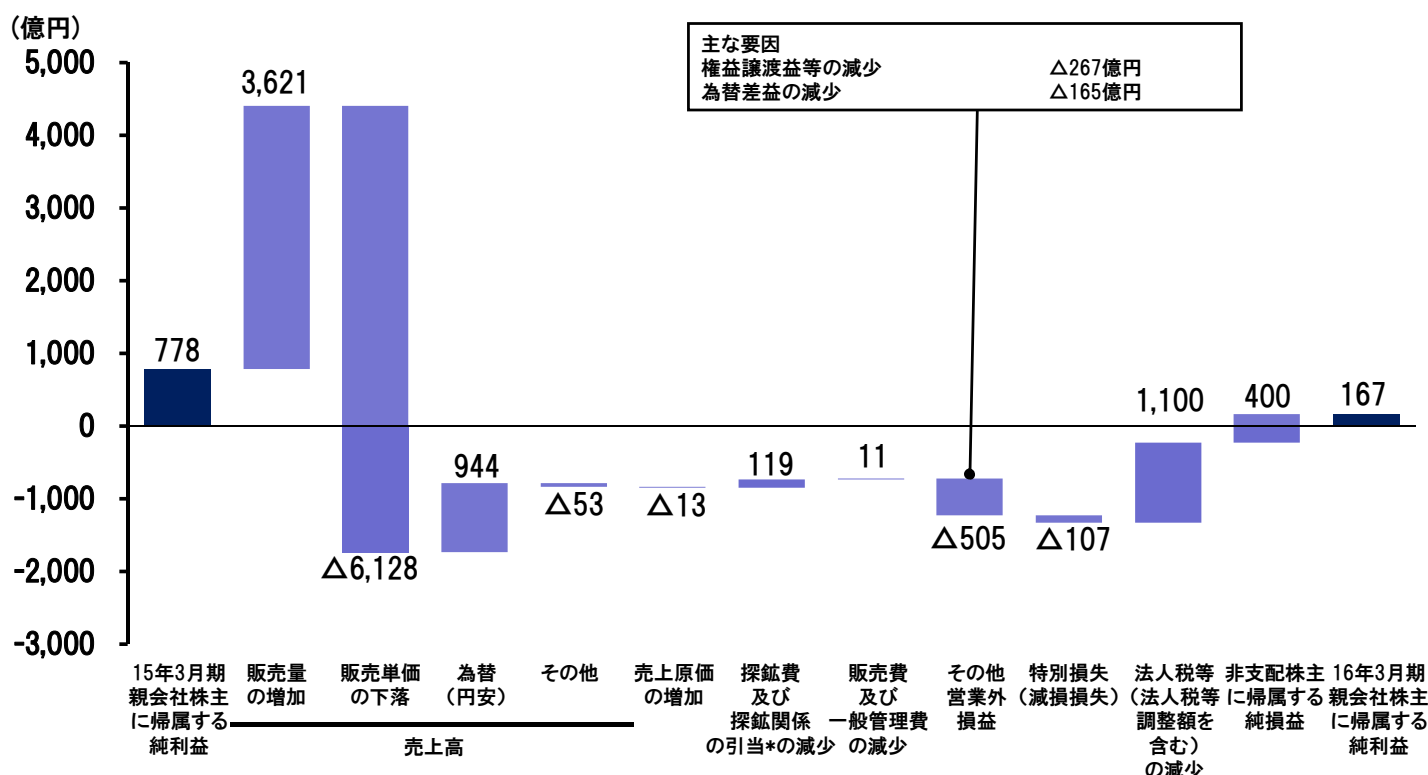
営業外収益・費用

INPEX

(億円)	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
営業外収益	1,017	699	△318	△31.3%
受取利息	112	107	△4	△4.2%
受取配当金	66	108	41	62.3%
有価証券売却益	181	259	78	43.2%
為替差益	195	29	△165	△84.8%
その他	461	194	△267	△58.0%
営業外費用	614	853	238	38.7%
支払利息	29	41	12	42.5%
持分法による投資損失	134	206	72	53.9%
生産物回収勘定引当金繰入額	194	250	55	28.7%
探鉱事業引当金繰入額	8	3	△4	△59.9%
固定資産除却損	62	132	70	112.3%
その他	185	217	31	17.2%

7

2016年3月期 純利益 増減要因分析



*生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額

貸借対照表



(億円)	15年3月期末	16年3月期末	増減	増減率
流動資産	13,424	9,843	△3,580	△26.7%
有形固定資産	14,976	17,526	2,549	17.0%
無形固定資産	4,587	5,414	827	18.0%
生産物回収勘定	7,032	7,277	244	3.5%
その他	6,187	4,954	△1,233	△19.9%
生産物回収勘定引当金	△1,217	△1,317	△100	8.3%
資産合計	44,991	43,698	△1,293	△2.9%
流動負債	3,652	3,191	△460	△12.6%
固定負債	8,452	8,719	266	3.2%
純資産	32,887	31,788	△1,099	△3.3%
(うち非支配株主持分)	2,220	2,459	238	10.8%
負債・純資産合計	44,991	43,698	△1,293	△2.9%
1株当たり純資産額 (円)	2,099.95	2,008.34	△91.61	△4.4%

活用可能な手元資金残高※
9,928億円

- ・現預金 7,725億円
- ・長期預金 2,028億円
- ・活用可能な投資有価証券 175億円

※現在計画している投資に充当される待機資金

イクシス下流事業会社(持分法適用)の要約財務情報(100%ベース、内当社株式比率は62.245%)

- ・流動資産 468億円
- ・固定資産 2兆6,041億円
- ・総資産 2兆6,510億円

その他の包括利益累計額 △1,212億円

- ・その他有価証券評価差額金 △410億円
- ・繰延ヘッジ損益 +297億円
- ・為替換算調整勘定 △1,099億円

キャッシュフロー

INPEX

(億円)	15年3月期	16年3月期	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	5,400	3,288	△2,111	△39.1%
減価償却費	525	867	342	65.3%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	755	641	△113	△15.1%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△607	△458	149	△24.6%
法人税等の支払額	△4,788	△3,935	852	△17.8%
その他	882	1,432	550	62.3%
営業活動によるキャッシュフロー	2,167	1,837	△330	△15.2%
定期預金の預入による支出/払戻による収入	3,721	2,459	△1,261	△33.9%
長期預金の預入による支出/払戻による収入	△1,121	△4,399	△3,278	292.2%
有形固定資産の取得による支出	△4,483	△4,767	△284	6.3%
有価証券・投資有価証券の取得による支出/売却による収入	2,566	1,964	△602	△23.5%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△704	△604	99	△14.2%
長期貸付けによる支出/回収による収入	△1,111	1,690	2,801	-
権益取得による支出	△184	△1,345	△1,160	-
その他	506	△431	△938	-
投資活動によるキャッシュフロー	△810	△5,435	△4,624	-
財務活動によるキャッシュフロー	△41	1,567	1,609	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,609	538	△2,071	△79.4%

10

財務指標

INPEX

純有利子負債／使用総資本(ネット)*

2015年3月期

2016年3月期

(16.8%)

(8.1%)

自己資本比率**

2015年3月期

2016年3月期

68.2%

67.1%

D/Eレシオ***

2015年3月期

2016年3月期

22.1%

25.3%

* 純有利子負債／使用総資本(ネット) = (有利子負債－現金及び預金－国債・地方債・社債等(時価のあるもの)－CP等－長期預金)／(純資産＋有利子負債－現金及び預金－国債・地方債・社債等(時価のあるもの)－CP等－長期預金)
 ** 自己資本比率 = (純資産－非支配株主持分)／総資産
 *** D/Eレシオ = 有利子負債／(純資産－非支配株主持分)

11

2017年3月期 連結業績予想

前提	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	45.0	45.0	45.0
為替レート(円/US\$)	110.0	110.0	110.0

通期	2016年3月期(実績)	2017年3月期(予想)	増減	増減率
売上高 (億円)	10,095	8,080	△2,015	△20.0%
営業利益 (億円)	3,901	2,380	△1,521	△39.0%
経常利益 (億円)	3,747	2,370	△1,377	△36.8%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	167	170	2	1.3%

第2四半期累計

売上高 (億円)	5,670	3,890	△1,780	△31.4%
営業利益 (億円)	2,467	1,180	△1,287	△52.2%
経常利益 (億円)	2,588	1,180	△1,408	△54.4%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	454	80	△374	△82.4%

1株当たり配当金(円)	第2四半期末	9.0	9.0
	期末	9.0	9.0
	年間	18.0	18.0

12

2017年3月期 販売量・投資額(予想)

	2016年3月期(実績)	2017年3月期(予想)	増減	増減率	
販売量	原油 (千bbl) ¹	117,227	123,334	6,107	5.2%
	天然ガス (百万cf) ²	337,216	333,192	△4,024	△1.2%
	うち海外分	271,912	259,907	△12,005	△4.4%
	うち国内分	65,304 (1,750百万m ³)	73,286 (1,964百万m ³)	7,981 (214百万m ³)	12.2%
	LPG (千bbl) ³	2,361	1,788	△573	△24.3%

	2016年3月期(実績)	2017年3月期(予想)	増減	増減率
開発投資額 ⁴ (億円)	8,800	6,670	△2,130	△24.2%
その他設備投資額 (億円)	518	110	△408	△78.8%
探鉱投資額 (億円)	393	170	△223	△56.7%
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	探鉱費 61 探鉱関連引当額 253 315	探鉱費 51 探鉱関連引当額 55 106	△209	△66.3%
うち非支配株主持分負担額 ⁶ (億円)	203	114	△89	△43.8%

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29bblを使用
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5bblを使用
 4 開発投資額にはイクシス下流事業を含む
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額
 6 非支配株主による増資見合い分等

13

原油価格・為替レートのセンシティブティ **INPEX**

■ 油価・為替変動の2017年3月期 親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額 (注1)

油価1ドル上昇(下落)した場合(注2)	+29億円(△29億円)
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合(注3)	+13億円(△13億円)

(注1) 原油価格(Brent)の1年間を通じた期中平均価格が1ドル上昇(下落)した場合、為替が1円円安(円高)になった場合の、2017年3月期の当期純利益に対する影響額を、当年度期初時点における財務状況を基に試算したものであり、あくまでも参考値であること、また影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、加えて油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

(注2) 油価変動が当期純利益に与える影響であり、原油価格(Brent)の1年間を通じた期中平均価格の影響を受けます。

(注3) 為替変動が当期純利益に与える影響であり、期中平均為替レートの影響を受けます。尚、外貨建て資産と外貨建て負債の差から発生する為替評価損益に係るセンシティブティ(前期末と当期末の期末為替レートの差の影響を受ける)は、ほぼ中立化しております。